

市議会

かさおか

2025. 2. 1

183号



「井笠鉄道記念館（山口）」



「笠岡駅前（中央町）」



「かさおか太陽の広場（カブト東町）」



「陶山小学校西側（押撫）」

P 2 12月定例会を開催しました

P 4 議案等審議状況

P 5 「笠岡市財政健全化プラン
(素案)」に関する市議会の
要望事項

P 6 視察報告

P 7 ここが聞きたい！一問一答

市議会かさおかは
市民とのかけはしです

12月定例会を開催しました

会期 11月25日～12月18日

できごと

議案審議

2～4P

一般質問

7～11P

次回は
3月
定例会

主な内容

- 議案 22件
- 発議 3件
- 請願 1件
- 報告 1件



PICK UP!

ここに注目

- 議員報酬等の特例条例（減額）を制定しました。
- 一般会計補正予算等を可決しました。
- 市長等の給料等の特例条例（減額）を可決しました。
- 市職員の給料等の特例条例（減額）を可決しました。
- 請願を採択しました。

議員の議員報酬及び期末手当の特例条例（減額）を制定しました

Q どんな条例なの？

発議名

笠岡市議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例について

A 本市の財政状況等を勘案する中で、議長・副議長・議員の報酬及び期末手当の額の特例措置（減額）を設けるために、議会提案により制定したものです。

	特例措置により減じる額	特例措置の期間
議長	支給額の100分の10に相当する額	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで (1年間)
副議長	支給額の100分の5に相当する額	
議員	支給額の100分の3に相当する額	

一般会計補正予算を可決しました

Q どんな予算が可決されたの？

議案名

令和6年度笠岡市一般会計補正予算(第5号)

A 12月補正予算は、国庫及び県支出金等の決定や事業の進捗に伴い、予算化の必要のある諸事業について編成されていました。一般会計補正予算の新規事業のみを記載しています。

地域医療介護総合確保基金事業補助金 「予算額」 4,570万円

◆事業内容 介護老人保健施設を介護医療院に転換整備する事業者に対し、整備費用の一部を補助するものです。

放課後児童クラブ性被害防止対策設備等支援事業補助金 「予算額」 15万円

◆事業内容 児童の性被害を防止するための設備等を整備する児童クラブに対し、費用の一部を補助するものです。

金浦中学校手摺設置事業 「予算額」 128万円

◆事業内容 移動に手摺が必要な生徒が安全に学校生活を送れるよう校舎階段に手摺を設置するものです。

市長等の給料・期末手当の特例措置（減額）する条例を可決しました

Q

どんな条例なの？

議案名

市長等の給料及び期末手当の特例に関する条例の制定について

A

本市の厳しい財政状況を鑑み、安定した財政運営の推進のため、市長等の給料及び期末手当の特例措置（減額）を講ずることについて必要な事項を定めるため、条例を制定したものです。

	特例措置により減じる額	特例措置の期間
市長	支給額の100分の10に相当する額	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで (1年間)
副市長	支給額の100分の7に相当する額	
教育長	支給額の100分の5に相当する額	

市職員の期末手当、勤勉手当及び管理職手当の特例措置（減額）する条例を可決しました

Q

どんな条例なの？

議案名

笠岡市一般職の職員の期末手当、勤勉手当及び管理職手当の特例に関する条例の制定について

A

本市の厳しい財政状況を鑑み、安定した財政運営の推進のため、一般職の職員の期末手当、勤勉手当及び管理職手当の特例措置（減額）を講ずることについて必要な事項を定めるため、条例を制定したものです。

期末手当及び勤勉手当	支給額から減じる額 支給額の100分の4～100分の10に相当する額
管理職手当	支給額から減じる額 支給額の100分の7～100分の15に相当する額
特例措置の期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで（1年間）

請願を採択しました

請願第5号

子育て支援の充実に関する請願

請願内容

子供は未来の希望であり、どんな地域や家庭に生まれても健やかに育つ権利が保障されなければなりません。子供の権利を保障すると同時に子育てする環境の充実が不可欠です。子供にとっての必要性や権利保障といった視点や保護者の就労を基本に保育の必要性や必要量を鑑み、個人給付だけでなく、子育て環境の充実を図っていくことが必要であると考えます。

各自治体での取組はもとより、各自治体単独での対応は難しくても広域的に取り組むことで実現できる子育て支援を進め、子育て支援の環境整備について笠岡市としても積極的に取り組んでいただきたく、お願いいたします。

- 1 休日保育の整備充実及び広域連携による相互利用制度の整備に係る働きかけの実施
- 2 備後圏域実証実験中の「訪問型病児保育事業」への参画及び井笠地域への提供範囲拡大への働きかけの実施

請願第5号は、厚生産業委員会で審査を行い、定例会最終日に、厚生産業委員会委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、採択しました。

発議第9号 子育て支援の充実に関する要望決議

笠岡市単独での取組はもとより、各自治体が広域的に取り組むことで実現できる子育て支援を一層進め、子育ての環境整備についてより積極的に取り組むことを求めるため、要望の決議を行い、市長に提出しました。

発議第10号 子育て支援のさらなる充実に関する意見書

未来への希望である子どもが、夢と希望を持ち、安心して心豊かに育つことができるよう、地方自治体における子育て支援のさらなる充実を実現するために、その財源と人材等の充実を求めるため、国及び県の関係機関に意見書を提出する議決があり、内閣総理大臣等に対して意見書を提出しました。

議案等審議状況



審議状況はHPでも
見ることができます！



下記に掲載する議案については、全会一致で可決しました。

議案番号	案 件
議案第67号	市長の専決処分した予算について
議案第68号	令和6年度笠岡市一般会計補正予算（第5号）
議案第69号	令和6年度笠岡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第70号	令和6年度笠岡市国民健康保険真鍋島直宮診療施設特別会計補正予算（第1号）
議案第71号	笠岡市総合計画審議会条例の一部を改正する条例について
議案第73号	笠岡市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
議案第74号	市長等の給料及び期末手当の特例に関する条例の制定について
議案第75号	笠岡市中心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例について
議案第76号	笠岡市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例について
議案第77号	笠岡市病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例について
議案第78号	笠岡市北木島宿泊研修所の指定管理者の指定について
議案第79号	笠岡市北木島高齢者共同生活住居の指定管理者の指定について
議案第80号	笠岡市交通交流センターの指定管理者の指定について
議案第81号	笠岡市立へき地集会所の指定管理者の指定について
議案第82号	笠岡市北木島診療所の指定管理者の指定について
議案第83号	笠岡市笠岡港笠岡地区（伏越）自動車駐車場の指定管理者の指定について
議案第84号	笠岡市井笠鉄道記念館の指定管理者の指定について
議案第85号	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について
議案第86号	動産の買入れについて
議案第87号	笠岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第88号	笠岡市一般職の職員の期末手当、勤勉手当及び管理職手当の特例に関する条例の制定について
議案第89号	笠岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
請願第5号	子育て支援の充実に関する請願
発議第8号	笠岡市議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例について
発議第9号	子育て支援の充実に関する要望決議
発議第10号	子育て支援のさらなる充実に関する意見書

「議員研修会」を開催しました

「ハラスメント防止研修～ハラスメントを生まない健全な議会であり続けるために～」

笠岡市議会では、人事課職員を講師として、令和6年度第2回笠岡市議会議員研修会を開催しました。

「笠岡市の市長等、職員及び議員のハラスメント防止に関する条例」は、令和5年12月に市議会特別委員会の発議により制定されています。

この条例は議員も対象となっており、議員が率先して、いかなるハラスメント行為も防止し、根絶することで、風通しの良い職場を作り出し、ひいては市民福祉の向上、笠岡市の持続的な発展につながると考えております。



「笠岡市財政健全化プラン（素案）」に関する市議会の要望事項

- 1 今まで行財政に関して十分な見直しをすることなく事業を増やしたために、圧迫された笠岡市の財政を、このたびの笠岡市財政健全化プランの実施によって立て直すということであるが、事業者と各事業における利用者ニーズや利用状況、事業効果等を協議継続し、見直し案を再検討していただきたい。
- 2 他市町との比較によって廃止、一部見直しとなっている事業の中には、笠岡市が先進的に取り組んでいる事業も見受けられる。
笠岡市としての独自性を損なわれないよう再検討していただきたい。
- 3 笠岡市財政健全化プランによる見直しを行った事業を実施する中でも、状況によっては補正予算を組むことができる、弾力性のあるものとしていただきたい。
また、今後は事業の見直しを行う判断基準が公平公正になるよう、事業評価の数値化などを検討していただきたい。

委員会協議会で意見のあった主な事業

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金、自動車急発信防止装置整備費補助金、青少年海外交流事業、中学生学力向上に向けた検定チャレンジ事業、公民館活動助成事業等補助金、ピアサロン運営事業（自発的活動支援）、重度心身障害者成人激励金及び寝たきり身体障害者等介護助成費、島しょ部障害者福祉サービス事業補助金、就業奨励金支給事業補助金

市議会の要望を市長に提出しています。



「議会報告会」を開催します！



全議員が一堂に会し、市民の皆様のご意見をしっかりお聴きできるよう、「意見交換会」として開催します。
予約なしでご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

日時・場所

- 令和7年2月9日（日）
午後1時30分～（1時間半程度）
- 笠岡市保健センター（十一番町1-3）
ギャラクシーホール・研修室（2階）

テーマ

「公共交通について」

「笠岡市の土地利用及び施設の今後の考え方について」

※当日は参加者が関心のあるテーマごとに分かれて、グループを作り、意見交換を行う予定です。



令和5年8月
開催の様子



視察に이었습니다

令和6年度 行政視察報告



先進的な取組を
調査するため視察に
行ってきましたので
報告します

総務文教委員会

(参加議員) 仁科文秀 山本 聡 井木 守
大月隆司 齋藤一信 西山博行 宮崎秀夫
村上太志 藪田誠二郎 山下恭司



11月
11～13

自動運転バス運行
の取組

岐阜県岐阜市

岐阜市では、運転手の人手不足が続く中、段階的に自動運転バスの実証実験を行い、2023年11月から中心市街地では全国初となる自動運転バスの継続運行をスタートさせました。

5年間継続運行する中で、段階的にインフラ整備を進めるとともに社会受容性の向上を図りながら、令和9年度までに特定の条件下でシステムに全操作を任せ「レベル4」での自動運転の実装を目指しています。

地域交通

岐阜県高山市

高山市では、交通事業者が運行する幹線バスのほか、高山市が事業主体となり幹線との接続を図る地域バス、中心市街地を巡回する中心市街地バス、中心市街地と中心市街地外縁部の大型駐車場を結ぶ観光特化型バスを運行しています。また、交通空白地においては地域団体が事業主体となり交通空白地に有償運送を実施しています。

このほか、バスの利用者が少ない地域においては、小型車両によるデマンド運行を開始しており、地域の実情に応じた公共交通体系の構築を目指しています。

新庁舎建設事業

岐阜県土岐市

土岐市では、旧庁舎（昭和41年建設）の老朽化が進み、耐震診断では倒壊の危険性が示されたため、平成24年11月に新庁舎建設を表明し、平成29年10月着工、平成31年3月に新庁舎が開庁しました。

新庁舎の正面には、祝祭空間、防災広場、駐車場として機能する多目的広場「土岐フォーラム」を設け、東に既存文化施設、中央に行政ゾーン、西に独立性のある議会ゾーンを配置しており、市民、行政、議会が一体になれる開かれた庁舎を体現しています。

厚生産業委員会

(参加議員) 桑田昌哲 大山盛久 天野喜一郎
大本邦光 藤井義明 真鍋陽子 守屋基範



10月
22～24

中心部における
都市計画事業

新潟県新発田市

新発田市では、中心市街地のにぎわいを取り戻すため、まず、まちの輪郭づくりとして、駅前広場整備や駅前公園整備など、新発田駅前を中心に基盤整備が行われ、続いて、まちの目鼻立ちとして、防災機能公園の「アイネスしばた」、市庁舎がある「ヨリネスしばた」、駅前複合施設の「イクネスしばた」の整備が進められました。

現在は、まちの表情づくりに取り組まれており、官民連携を推進し、住み心地・居心地のよいまちとなるよう、歴史資源を生かした空間づくりを進めています。

スマートウエルネス

新潟県見附市

見附市では、身体面の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態を「健幸(けんこう)＝ウエルネス」と呼び、まちづくりの中核に据えています。

健康に対する関心が薄い市民でも健康になれるようなハード整備や仕組みづくりなどを通じて総合的に「住んでいるだけで健幸になれるまちづくり」を進め、「日本一健康なまち」を目指しています。

「にいがた2km」における
道路空間利活用

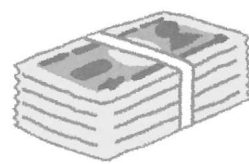
新潟県新潟市

新潟市では、中心部に位置する新潟駅、万代、古町をつなぐ都心軸が約2キロメートルであることから、その都心軸エリアを「にいがた2km」と名づけ、「経済・産業の発展を牽引する成長エンジン」とするための取組を進めています。

道路空間の利活用においては、居心地のよい滞在空間の創出とともに、多様な交通手段による回遊性の向上を図っており、人に優しく歩いて楽しいウォークアブルな空間づくりへの期待が高まっています。



くわだ まさあき
桑田昌哲議員



財政健全化プラン（素案）について

〔質〕 事業見直し等での黒字額は新規施策に活用するとある。市長が目指す新たな指針について尋ねる。

生徒の居場所づくりを関係機関と連携して行う事業についても、財政健全化プランを上げた上で最優先に取り組みたい。

〔答〕 「暮らしを支える」では、公共交通事業者との対話を継続し、高齢者タクシーチケット助成事業をDXの技術を活用して、利用者の利便性向上と事業者の事務効率化を図る。令和8年度には岡山、倉敷方面から道の駅までの交通アクセスの利便性が向上するため、道の駅経済波及効果の拡大と地域内の経済循環の向上を目指す。「まちを整える」では、畜産業の皆様と協力し、調和を図りながら臭気問題に取り組む。「子どもをまもる」では、まずは2人目以降の保育料の無償化と高校生までの医療費無償化に取り組む。全国的な問題である長期欠席、不登校児童・

〔質〕 本庁舎建て替えの今後の見通しについて尋ねる。

〔答〕 本庁舎建設事業は、前倒しを検討する。財政健全化プランを確実に実行し、早期に実現したい。

〔質〕 今後公表する予定の内容を可能な範囲で伝えていただきたい。

〔答〕 財政が悪いことで不安を与えてしまい、非常に申し訳なく思う。財政健全化プランを強力に進めることにより、皆さんの生活が安定し、将来希望が持てるまちになると約束させていただく。



おおやま もりひさ
大山盛久議員

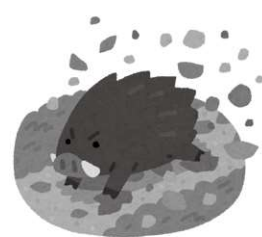
市長公約、4つの無償化について尋ねる

〔質〕 ①放課後児童クラブの無償化 ②学校給食の無償化 ③高校生までの医療費の無償化 ④2人目以降の保育料の無償化について、財政難の中、いつされるのかを尋ねる。

〔質〕 ①猟友会との関係②報奨金・協力金の問題③地域住民組織との関係④鳥獣保護区のイノシシの駆除についての考えを尋ねる。

テム改修などの検討をしている。

有害鳥獣対策について尋ねる

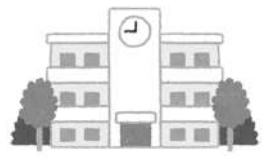


〔答〕 財政状況の制約もあり、段階的に取り組みたい。就労する母親の増加に伴い、令和5年に本市が実施した調査によると保育需要が高まり、市の役割として経済的な負担軽減を求める声も強くなっている。こうしたことから、市民ニーズに応え、子育て支援を一層強化するに当たり、4つの無償化のうち、まずは2人目以降の保育料の無償化に取り組み、子育て世帯の経済負担を軽減したいと考えている。また、高校生までの医療費無償化についても、令和8年度からの実施に向けた準備としてシス

〔答〕 ①現在、令和7年度に向けた捕獲等の体制づくりに向けて検討を行っているところである。②令和7年度については奨励金と協力金の現状の差異を取り払い、駆除1頭当たりの単価を同一として、さらに協力金についても上限を設けないことを検討している。③新たな地域住民組織の発足についても推進する。④岡山県では鳥獣保護区の指定期間は10年となっているので、期間終了の際には地元住民や利害関係人の意見を聞きながら、保護区の更新や解除について適切に判断したいと考えている。



いぎ まもる
井木 守 議員



財政健全化プラン

(素案) について

質 なぜ改めて市民への負担増で財政健全化を進めなければならなかったのか。

答 二、三年前から物価、人件費とも上昇しており、地方自治体の財政に影響を与える流れが来た。本市は財政調整基金が少なく、急激な物価、人件費の上昇を財政調整基金の残高で賄えない事態になった。当面、最も厳しい令和7年度を乗り切り、集中期間の3年間で道筋を立てたい。

質 関係諸団体への事前の聞き取りなど行っているのか。今後の市民説明会は検討しないのか。

答 財政健全化プラン(素案)発表前の調整は行っていない。現在、担当部局を通じて関係団体に説明

している。パブリックコメントで意見を募集しており、改めての市民説明会は計画していない。

学校規模適正化計画について

質 中学校で、なぜクラス替え可能な複数学級が必要なのか。学力向上などのエビデンスはあるのか。

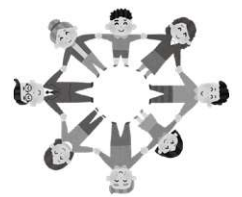
答 集団規模と学力向上に直接関係があるわけではない。

質 学校規模適正化の当事者は生徒たちだ。笠岡市子ども条例にあるように、生徒の意見をどのように聞き、計画に反映するのか。

答 大事な部分だと思う。教育の内容などは、子供たちの意見をしっかりと聞いていく。しかし、学校規模適正化の問題は、大人の責任で考えなければならない。



にしやま ひろゆき
西山博行 議員



各学校の連携状況などを共有する 庁内の組織づくりについて

質 小中一貫教育の現状と課題について尋ねる。

答 教職員の相互理解の促進などにより各学園で義務教育9年間の系統性、連続性に配慮した教育活動が行われるようになってきた。学力向上については、基礎基本の定着に課題が見られる。授業改善を全市的に取り組んでいる。

質 小・中・高の連携状況などの情報を共有する部署、あるいは窓口の設置についての考えを尋ねる。

答 小・中学校及び高校との連携については、今後も窓口としての役割を教育委員会が担っていく。

笠岡市の関係人口を増やすための庁内連携について

質 笠岡市が保有するインターネット上にあるコンテンツや他団体が保有する影響力を持ったコンテンツを利用し、関係人口を増加させる方策はあるか。そのためには、庁内の部署や他団体との横連携が重要だ。関係人口を増やすための連携について状況を探ねる。

答 カブトガニの映像が注目を集めており、新たなふるさと納税の返礼品等について、カブトガニ博物館と連携し、検討している。企業との連携にも力を入れていきたい。また、新たに機動的に庁内横断的な取組の協議、検討を行うことができるビジョン実現タスクフォースを設置する。関係人口の増加もテーマとして掲げることとし、庁内の横連携を図っていく。



にしな ふみひで

仁科文秀 議員



厳しくなる 地域公共交通の現状

化、新たな人材確保に苦慮しており、予断を許さない状況である。

〔質〕 笠岡市はバス事業に対し、ずっと赤字補填を続けてきた。この考えでは運賃が増えると補助金が減るので、事業者のやる気を生まないとの考えがある。今後の方針を尋ねる。

〔質〕 公共交通について、市民の意見を聞く考えはないか。

〔答〕 まだ、その段階ではない。全体的に見直しが進んで適切な段階になったら、説明責任を果たしたい。

〔答〕 井笠バスカンパニーへの補助金は、井笠・福山圏域バス路線連携協議会にて毎年度精査している。収入確保や経費の削減についても関係市町で継続的に協議する。

〔質〕 井笠バスカンパニーから利用者を増やす、バス事業をもっとこうしたいという意見が出ているか。

〔答〕 経営、運行や運行ダイヤ、補助金内容、乗務員の現状等を定期的に情報交換している。乗務員不足が最も深刻な問題であり、高齢

いつ、誰が陥っても
不思議でないギャンブル依存症

〔質〕 ギャンブル依存症について、本市の取組、対応を尋ねる。

〔答〕 全国に約320万人いると言われている。本市では患者は把握できていない。近々職員対象の研修会があるのを見識を深め啓発に努める。県保健所、精神保健福祉センターにつなぎ、借金返済に関して

は消費生活センターや無料法律相談等がある。不安な方は市の健康推進課へ相談してほしい。

次期笠岡市 総合計画策定について



やまもと さとし

山本 聡 議員



都市計画 マスタープランについて

〔質〕 笠岡市の未来戦略である総合計画に「魅力」のKPI（総合指標）はあるか。

〔答〕 特に設定していない。

〔質〕 まちづくりの視点で、コミュニティづくりについて尋ねる。

〔答〕 「地域のことは地域で」を前提にボトムアップし、小規模多機能自治の実現に向けて検討したい。

〔質〕 医療体制の再編はあるのか。

〔答〕 県南西部地域医療構想調整会議の意見に従う。今はできない。

〔質〕 宅地開発、企業誘致の戦略は。

〔答〕 宅地開発や工場を誘致する。

〔質〕 駅南口開発などの大規模ハード事業は当面凍結の方針だが、ソフト的な対応は間断なく必要と考える。まちづくりの基本的手法は。

〔答〕 都市計画マスタープランを平成16年に策定し、令和3年度には立地適正化計画の策定を受けて改定を行った。都市の将来像の実現に向けたまちづくりの手法として、市民と行政が連携協働することが重要であり、それぞれの役割を果たしていくことが基本と考える。

〔質〕 市民活動との連携、ワークショップの開催など考えられるか。

〔答〕 これまでも住民懇談会を実施し、ワークショップ形式で地区の課題抽出やアイデアの聞き取りを行っている。今後も活用したい。



むらかみ たいし
村上太志議員



小学校就学前健診「知的発達スクリーニング検査」について

質 インクルーシブ教育（障害の有無にかかわらず、共に学び合うこと）を実践している本市において、知的発達スクリーニング検査の目的について尋ねる。

答 知的発達の状況や偏りの可能性を、おおよそ把握するという目的で実施している。

質 知的発達スクリーニング検査の結果で、通常学級に通えなくなることはあるのか尋ねる。

答 結果のみで、クラスを分けることはない。こども部・就学前施設・保護者と連携し、丁寧な話し合いをしながら、対象の子供に必要な支援を検討している。

井笠地域の子育てにおいて笠岡市がリーダーシップをとるべき時代

質 井笠地域から、100名を超える広域入所の利用者を本市は受け入れているが、市町間で補助金等を設けているか尋ねる。

答 井笠地域だけでなく、令和6年度からは備後圏域とも広域入所の連携を図っている。委託元の市町が委託先の市町に応分負担することになっている。今後も広域入所に関して、各市町の事務処理が円滑に進むよう協議を進める。

質 産休・育休中の保護者家庭が、入所の際に優先順位が下がることはないか尋ねる。

答 本市では、施設の定員に対し利用率が75%と若干余裕があり、おおむね希望する施設に入所できている。育休・産休中の保護者家庭を守る制度設計についても今後検討していきたい。



もりや もとのり
守屋基範議員

財政健全化プラン（素案）について

質 市民が意見を言う方法は、パブリックコメントのみか。

答 直接、市長室に相談に来られる方もいる。時間の許す限り要望は聞く。

質 市長は職員の給与カットまで言及する割には、自身の給与カットについては来年4月から僅か1年間である。どう考えているのか。

答 取りあえず1年とし、私（市長）が判断した政治姿勢である。

質 福祉事業の大幅カットは、市長公約に反するものではないか。

答 障害者も含めた笠岡市民の基本的な人権、安心・安全の生活の部分には手をつけていない。

機構改革について



質 機構改革案で定住促進センターが廃止になっている。関係人口が叫ばれる中、移住を単なる空き家へのマッチングと考えるのではなく、人材をいかに笠岡市に取り込むかの視点での取組が必要だ。窓口を廃止するべきではない。

答 移住のトータルサポートはまちづくり課、空き家の関係は都市計画課へ移管して実施する。

質 笠岡市全体の政策づくりを調整する部門が必要と感ずる。財政健全化・機構改革等守りの部分での改革を攻めの改革にしてほしい。

答 施策を横でつないで調整することは重要であり、今まさに求められていることだと思う。

〔答〕 ①意欲ある農業者に対してはしっかりとヒアリングを行い、支援を行っていききたい。②議会からの政策提言を踏まえた上で市民からの意見を聞きながら検討していく。③事前見学は大いに歓迎する。遠慮なく申し出ていただきたい。

〔質〕 ①国や県の方向性と逆行する形で環境保全型農業直接支払事業が廃止となっている。今後は取り扱わないのか。②指定ごみ袋無料配布事業は、有料化も視野に入れて検討するのか。③笠岡市ならではの福祉事業が廃止となっている。社会の壁に日々直面している障害のある方やその家族にとって補助金も大事であるが、心のバリアフリーも目指してほしい。障害のある方も成人式は1年前などに事前見学はできるか。

財政健全化プラン (素案) について問う

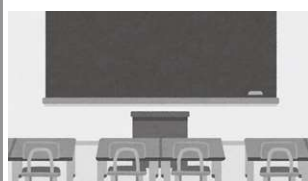


まなべ ようこ
真鍋陽子 議員

〔答〕 ①特別な支援を必要とする生徒が、受験する際に不利になることがないよう高等学校と連携を取っている。中学校で行っている相談体制を充実させ、全ての志願者が力を出し切ることができるように、各校に指導していく。②子供たちが主体的に考え、他者と協働しながら課題解決できる探求的な学びを展開したい。地域を学びのフィールドにして、郷土愛を育む教育を進めていきたい。

〔質〕 ①合理的配慮が必要な生徒が高校入試においても支援を受けられる体制は整っているのか。②笠岡市ならではの教育を求める声が増えてきている中、教育長が目指す学校教育とは何か。

学校における合理的配慮、 これからの学校教育について問う



傍聴をしてみませんか？

議会では、私たちの生活に関係のある重要な問題が審議されています。皆さんが選んだ議員が、どのような活動をしているかご存知ですか？

議場では議員の活動の様子をどなたでも目の前で見るすることができます。

ぜひ、傍聴にお越しください！

市議会の会議資料を、スマートフォンやパソコンでご覧いただけます。



市議会の資料（電子書籍形式）を、外部サイトで公開しています。

←会議資料は、二次元コードまたは市議会の HP からご確認ください。

※個人情報に関する箇所は、伏せた上で掲載していますのでご了承ください。

議会生放送を行っています

笠岡放送（株）にご協力いただき、CATVの11ch行政（地デジ112ch）で審議の様子を放送しています。

本会議、常任委員会（総務文教委員会・厚生産業委員会・予算決算委員会（一部））及び予算・決算についての詳細な審査や確認を行う分科会が生放送でご覧いただけます。

よりよい笠岡市をつくっていくために行われる白熱の会議は必見です。傍聴したいけど時間がない、議会棟まで行くことが困難・・・という方や、議会には興味がない・・・という方も、ぜひ一度ご覧ください。次回生放送を予定している会議は、最後のページの「3月定例会のお知らせ」にあります。

（変更となる場合がありますのでご了承ください。）

皆さんも一緒に笠岡市の未来について考えましょう！！

3月定例会のお知らせ

2月25日（火）★初日（議案上程ほか）
予算決算委員会
総務文教委員会協議会

3月 6日（木）★2日目（代表質問）

7日（金）★3日目（個人質問）

10日（月）★4日目（個人質問）

11日（火）★5日目（個人質問）

12日（水）★6日目（諸議案質疑以下）

予算決算委員会

厚生産業委員会協議会

13日（木）★総務文教委員会

★予算決算委員会総務文教分科会

17日（月）★予算決算委員会総務文教分科会

18日（火）★厚生産業委員会

★予算決算委員会厚生産業分科会

21日（金）★予算決算委員会厚生産業分科会

25日（火）予算決算委員会理事会

27日（木）★予算決算委員会

議会運営委員会

28日（金）★最終日（議案採決ほか）

（★は生放送予定の会議です。）

※この日程は予定です。

日程は2月20日の議会運営委員会で決定します。

会議は各日とも9：30から開始します。

「いきいきチャレンジたいけん」中学生が市議会で職場体験

「いきいきチャレンジたいけん」は、中学生が地域の職場・施設で、体験活動を行うことにより、主体的に自らの生き方や進路選択をしていこうとする意欲や態度を育成することを目的として行われています。

このたび、市内中学校4校6名の生徒の皆さんが、市議会での職場体験を行いました。



「市議会かさおか183号」に対するご意見をお聞かせください

市民の皆様の「市議会かさおか183号」に対するご意見をお聞かせください。

応募方法 スマートフォン又はハガキからお寄せください。

●スマートフォンの場合

2次元コードを読み取り、必要事項の入力・選択をお願いします。



●ハガキの場合

ハガキに必要な事項（住所・氏名）をご記入の上お送りください。

ご意見は、

読みやすい紙面づくりに活かしていきます。

【宛先】〒714-8601

笠岡市中央町1-1 笠岡市議会事務局 宛

編集の窓

笠岡市は明るい笠岡市を創出するためのビジョンを急ピッチで策定しております。子育て支援をはじめ、あらゆる世代に住んで良かったと言われるまちづくりを目指し、一日も早く新しい笠岡像を皆様に示せるよう尽力して参ります。

笠岡市議会は執行部と一丸となり、本年も市民の皆様の声を大切にし、透明性を持って笠岡市政を前に進めて参ります。

一層のご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。

市議会かさおかでは紙面の都合上、情報を要約して掲載しています。
ぜひHPをご覧ください。



広報公聴委員会

◎天野喜一郎

○齋藤一信

大山盛久

桑田昌哲

妹尾博之

仁科文秀

山本聡

◎委員長 ○副委員長